

第37回

三鷹市社会教育会館のつどい

広めよう！学ば楽しさ地域 みんなに

12月3日(土) 午前10時～午後5時・4日(日) 午前10時～午後4時 同館で

プログラム

特別講演会「地域で生涯学習！出会い・ふれあい・学びあい」3日(土) 午後2時30分～4時30分 講師は文政大学人間科学部教授の野島正也さん(写真)。保育あり(満1歳～就学前、先着10人)。



▼同館へ(保育希望者は11月30日(水)までに) 直接または電話で申し込む。先着100人。舞台発表 3日(土) フラダンス・民謡・ハーモニカ演奏・健康体操・バンド演奏は

か、4日(日) 演劇・舞踊・講談・オカリナ、コカリナ演奏ほか

作品展示 陶芸・絵画・版画・エコクラフト・木工作品・押し花・洋服・絵手紙・学習活動、自主グループ活動紹介

模擬店 食事・喫茶コーナー・木工・エコクラフト・ステンシル・デジカメ作品ほか

生涯学習相談窓口開設 3日(土) 午前10時～午後4時 お楽しみイベント ステンシルカード作り・エコクラフト小物作り・デジカメプリント・名刺作り・名札作り・子ども向け16『映画会・寸劇ワークショップほか

図書・赤ちゃん向け絵本展示コーナー

▼直接会場へ。同館 ☎ 49-2521

第4回みたか市民活動

NPOフォーラム

見て・聞いて・話し合おう！市民活動早わかり

フォーラム実行委員会・ファースト・ステップみたか主催 三鷹市共催 さまざまなジャンルの約30の市民団体が一同に参加するイベントです。

11月19日(土)～21日(月)、市民協働センターで。

トークサロン 19日午後6時～8時 コメンテーターは清原慶子三鷹市長。参加費500円。先着25人。

各団体の活動状況の発表 20日 午後2時～2時35分 午後2時45分～3時20分 午後3時30分～4時

イベント

20日 午前10時30分～午後0時30分 親子の表現ワークショップ、参加費1組500円。午前10時30分～午後3時

地球市民講座 「徹底解剖100円ショップ」 日常化するグローバルゼーション

100円雑貨の安さのカラクリから見えてくるアジアと日本との関係について、ビデオを見ながら考えます。

12月8日(木) 午後6時30分～8時30分 三鷹駅前コミュニティセンター4階で。講師はNPO法人「アジア太平洋資料センター」共同代表の井上礼子さん。

▼企画経営室 ☎ 内線2115・☎ 48-1419・✉ kikaku@city.mitaka.tokyo.jp へ申し込む。定員20人程度。当日直接参加可。

国際基督教大学公開講座の市民聴講生募集

対象は18歳以上の市民(学生を除く)。

開発社会学(新津晃一教授) 毎週火・木曜日 午前10時45分～午後0時30分 神学研究2(森本あんり教授) 毎週火・金曜日 午後3時

時10分～4時55分 12月6日(火) 平成18年2月23日(木)、受講料1科目1万5千円(1学期1科目を限度に2千500円を市が助成)と教材費実費がかかります。

▼11月29日(火)～12月2日(金)の午前9時～午後4時(昼休みを除く)に、同大学公開講座担当係(大沢3-10-2本部棟2階)へ受講料を添えて申し込む。募集はいずれも若干名。

▼生涯学習課 ☎ 内線3316

家庭教育学級 秋のトーク&ピアノコンサート 親子の絆を深める音楽の魔法

一中・同校PTA・市教育委員会主催

11月26日(土) 午後1時30分～3時30分 同校第一音楽室で。講師は作曲家の脇田峻多郎さん。

知って得する！子育て術、生まれた順別 効果の上がる育見法

三小・同校PTA・市教育委員会主催

11月30日(水) 午前10時～11時30分 同校視聴覚室で。講師はまつくば体操クラブ代表の向井忠義さん。

心の温まる親子のコミュニケーション ～お母さんの愛、子どもに伝わっていますか？

羽沢小・同校PTA・市教育委員会主催

12月5日(月) 午前10時～正午、同校視聴覚教室で。講師は家庭教育アドバイザーの太田善子さん。

いずれも生涯学習課 ☎ 内線3316へ申し込む。上履き持参。

傍聴できます 第7回市立小・中一貫教育校開設準備検討委員会

市教育委員会では、平成18年4月に第二中学校区(二小、井口小、二中)に開設する小・中一貫教育校の具体的な内容を検討する委員会(市民や地域のみなさん、PTA・世話人会、学校関係者、学識経

「博士の愛した数式」著者 小川洋子さん講演会 「物語の役割」



市・筑摩書房主催。「太宰治賞事業」の一環として、芥川賞や本屋大賞の第1回受賞者で「博士の愛した数式」などの著作で知られる同賞選考委員の小川洋子さんの講演会を開催します。

▷11月26日(土) 午後2時～3時30分(1時30分開場) 芸術文化センター風のホールで。

▶当日、直接会場へ。先着400人。 ☞ コミュニティ文化室 ☎ 内線2517

応募締切迫る「第22回太宰治賞」

当選作 1篇(ほかに「優秀作」が選ばれることもあります) 応募締切 12月10日(土)(消印有効) 発表 選考結果は平成18年5月に発表。当選作品、優秀作品、最終候補作品は「太宰治賞2006」(平成18年6月に筑摩書房から刊行)に掲載予定。当選者には正賞の記念品と副賞100万円を贈呈。 選考委員(敬称略) 高井有一/柴田翔/加藤典洋/小川洋子 応募規定 未発表小説に限り。枚数は400字詰原稿用紙50～300枚。応募作品は1人1～2編とします。 送り先 「〒111-8755 台東区蔵前2-5-3 筑摩書房内太宰治賞係」宛 当選作品の出版権および映画・テレビ・ビデオ化などの権利は、筑摩書房に帰属します。 くれしくは筑摩書房太宰治賞事務局 ☎ 03-5687-2671へ。

▼同校 ☎ 44-5373

11月24日(木) 午後3時30分～4時 教育センター1階第一中研修室で。

▼傍聴希望者は当日、直接会場へ。

会議録要旨は、市のホームページで随時公開します。 指導室 ☎ 内線3245

ふれあい秋まつり 2005

「みんな笑顔で」をテーマに市民のみなさんと市内のボランティアグループ、作業所NPOなどの福祉にかかわる団体が一緒に楽しむお祭りです。吹奏楽演奏(四中)、講演「地域で楽しく暮らしていくために」、映画、あしがらさん、手話教室、車椅子体験、ゲームコーナー、模擬店など。

11月27日(日) 午前10時～午後3時 三鷹駅前コミュニティセンターで。

▼当日、直接会場へ。 ☞ みたかボランティアセンター ☎ 76-1271

歳末たすけあい基金にご協力

を11月21日(月)～12月20日(火) 三鷹市社会福祉協議会と三鷹市募金委員会では、今年も「歳末たすけあい運動」の期間中、町会・自治会などの協力で募金活動を展開します。

寄せられた募金は、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりの活動や高齢者の生きがい事業、福祉施設の活動助成費として使われています。

みなさんの温かいご支援をお願いいたします。

▼同協議会 ☎ 46-1108

小学校へ 実験器具などを寄贈

千葉一雄さん、司津子さん(下連雀丁目)から四小へ、理科実験器具・教材の寄贈がありました。

休館日 毎週火曜日(1月3日、3月21日を除く)、1月1日(祝・2日(休) 料金 大人1千円、中学生700円、小学生400円、幼児(4歳以上)100円 販売時間・場所 12月30日(金)～1月3日(火)を除く毎日 午前10時～午後6時 三鷹産業プラザ(下連雀3-38-4) 1階MY SHOPで。 12月1日の発売初日は混雑が予想されます。 ☞ まちづくり三鷹 ☎ 40-9669



市民文芸

三鷹歌会十月の素歌 (選と評) 金田 釐重 妻でなく母親でもなき一時を「くすの樹」で飲む珈琲が好き

行川 明子 「評」たえ一時であつても夫を子を忘れ自分だけの時間を自由に過している安らぎの気持ちがよく出ている。

八島 靖夫 「評」葉書は陰暦八月の異稱 葉月十五夜の月は仲秋の名月である、都会的な月の出をうまく捉えていて面白い。

横尾えり子 「評」なかなか実をつけない風船 裏にやきもきしていた作者。たった一つだけの実をつけたうれしき。それも束の間今度は台風でやきもき。そんな気持ちがよく出ている。

花輪 明子 「評」孫と一緒にイルカと握手したことがイルカの鱗があたかかったという発見は作者にとつて忘れられない大きな感動なのだ。その感動が伝わってくる。エアコンの風にひねもす吹かれぬセントポーリアやつくや咲きぬ

神玉満智子 「評」セントポーリアと言わず花はエアコンの風には弱いもの。いわば逆境のなかでの開花に作者は感動の拍手を送っているのだ。

暗くなりまた明るめる雨の日の曇りガラスに緑揺れるる 榎木 玲子 「評」曇りガラスに揺れている植物の緑に雨の日の鬱を紛らわしている作者なのだ。 ひすがらを秋深めゆく雨に濡れ日 日草の花は美し 松村美穂子 「評」日草は開花期も長く色褪せない花だが、雨に濡れた淡紅色はまた格別。作者はそんな花に心を寄せているのだ。 江の島水族館で孫と共にイルカと握手す鱗あたか